

・(5-1) スポーツ振興課所管事業

1. 保健体育総務費	96
2. 保健体育施設総務費	97
3. スポーツランド施設管理費	98
4. スポーツセンター施設管理費	99
5. 市民体育館施設管理費	100
6. 武道館施設管理費	101
7. 中央公園運動広場等施設管理費	102
8. スポーツ大会	103
9. 学校体育施設開放事業	104
10. 指導者研修会・養成講習会	105
11. スポーツ団体育成事業	106
12. 生涯スポーツ活動推進事業	107

平成31年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成30年度実施事業分)

事業概要

事務又は事業の名称		保健体育総務費			所管	部	教育文化部		
						課	スポーツ振興課		
事業の概要	総合計画該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 3 生涯学習社会の充実 2 生涯スポーツの普及と振興			区分	自治事務			
	教育振興基本計画施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(4) スポーツ活動の推進				ソフト事業			
	行政改革推進項目	00 該当なし			事業の開始・終了年度				
					事業開始		**	年度	
					終了予定		**	年度	
	実施根拠となる分野別計画	教育振興基本計画		根拠法令	スポーツ基本法第31条、野々海市スポーツ推進審議会に関する条例、スポーツ基本法第32条、野々海市スポーツ推進委員に関する規則				
事業の対象(誰が・誰に)	野々海市がスポーツ推進審議会委員及びスポーツ推進委員に		事業の目的	審議会委員の提言や助言をスポーツ推進委員の協力のもとに、スポーツ事業の推進と普及を図る。					
事業の内容	スポーツ推進審議会の開催。 スポーツ事業の推進を図るため、スポーツ推進委員の委嘱を行う。		平成30年度活動実績	・スポーツ推進審議会委員の委嘱及び審議会の開催 ・スポーツ推進委員の委嘱 ・各種団体への負担金					
事業の指標	種別	指標の名称		単位	最終目標値	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
	成果指標	数値指標の設定になじまない		**	**	**	**	**	
事業のコスト	事業費	区分		平成29年度	平成30年度	平成31年度予算			
		財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0		
			県支出金	(千円)	0	0	0		
			地方債	(千円)	0	0	0		
			その他	(千円)	0	0	0		
			一般財源	(千円)	5,560	5,040	4,967		
	事業費計	(千円)	5,560	5,040	4,967				

実施計画

年度計画	区分	平成32年度計画	平成33年度計画	平成34年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画(今後3箇年の活動内容)	・審議会の継続 ・スポーツ推進委員の継続 ・スポーツ推進計画に基づく事業の継続 ・東京オリンピック関係事業の推進	・審議会の継続 ・スポーツ推進委員の継続 ・スポーツ推進計画に基づく事業の継続	・審議会の継続 ・スポーツ推進委員の継続 ・スポーツ推進計画に基づく事業の継続

自己評価

自己評価	前年度自己評価	次年度の方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由	・スポーツ推進審議会のご意見などを、スポーツ振興事業の推進に活かすよう努める。 ・スポーツ推進委員による積極的な研修会等への参加と、他市町での先進的事例、取り組みなどを研修いただき、本市における生涯スポーツ事業の推進に努める。
	C	C			
改善点	今後の改善事項(ニーズ・課題等)		スポーツ推進審議会委員等の意見を取り入れながら各種スポーツの推進を図る。 東京オリンピックに向けて、スポーツに対する気運を高め、マイナースポーツにも関心を持ってもらえるよう努める。		

平成31年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成30年度実施事業分)

事業概要

事務又は事業の名称		保健体育施設総務費			所管	部	教育文化部		
						課	スポーツ振興課		
事業の概要	総合計画該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 3 生涯学習社会の充実 2 生涯スポーツの普及と振興			区分	自治事務			
	教育振興基本計画施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(4) スポーツ活動の推進				ハード・ソフト事業 単独事業			
	行政改革推進項目	00 該当なし			事業の開始・終了年度				
					事業開始	**	年度		
					終了予定	**	年度		
実施根拠となる分野別計画	教育振興基本法		根拠法令	スポーツ基本法 第12条					
事業の対象(誰が・誰に)	野々市市が市民に		事業の目的	市の管理するスポーツ施設を安全快適なものとして、保全管理の徹底と効率的な活用に努めるものである。					
事業の内容	・市内スポーツ施設の維持・管理及び改修等事業。		平成30年度活動実績	スポーツセンター照明器具取替工事、健康広場フェンス改修工事、スポーツセンター排煙オペレーター改修工事、野球場防球ネット張り替え工事、武道館ブロック塀改修工事、野球場グラウンド改修工事外					
事業の指標	種別	指標の名称		単位	最終目標値	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
	成果指標	施設の利用人数		人	350000	322219	319229	330000	
事業のコスト	事業費	区分		平成29年度	平成30年度	平成31年度予算			
		財源内訳	国庫支出金 (千円)	0	0	0			
		県支出金 (千円)	0	0	0				
		地方債 (千円)	0	0	53,000				
		その他 (千円)	16,300	15,000	16,000				
		一般財源 (千円)	42,414	54,704	34,144				
	事業費計 (千円)	58,714	69,704	103,144					

実施計画

年度計画	区分	平成32年度計画	平成33年度計画	平成34年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	体育施設の計画的な維持管理 市体育施設整備計画の推進	体育施設の計画的な維持管理 市体育施設整備計画の推進	体育施設の計画的な維持管理 市体育施設整備計画の推進

自己評価

自己評価	前年度自己評価	次年度の方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由	利用者の快適な利用に配慮しながら適正で安全な維持管理に努める。
	C	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		施設の長寿命化を図りながら、利用者が快適に利用できるよう配慮しながら適正で安全な維持管理に努める。		

平成31年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成30年度実施事業分)

事業概要

事務又は事業の名称		スポーツランド施設管理費			所管	部	教育文化部
					課	スポーツ振興課	
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 3 生涯学習社会の充実 2 生涯スポーツの普及と振興			区分	自治事務	
	教育振興基本計画 施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(4) スポーツ活動の推進				ハード事業 単独事業	
	行政改革 推進項目	00 該当なし			事業の開始・終了年度		
					事業開始	**	年度
					終了予定	**	年度
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本法	根拠法令	スポーツ基本法 第12条			
事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市民に	事業の目的	市直営による安全快適な施設とし、保全管理の徹底と効率的な活用を図る				
事業の内容	施設の維持・管理	平成30年度 活動実績	・温水ボイラー点検整備業務委託 ・夏季屋外プール安全管理業務委託外				
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	平成29年度	平成30年度	平成31年度
	成果指標	成果指標になじまない	**	**	**	**	**
事業のコスト	財源内訳	区分	平成29年度	平成30年度	平成31年度予算		
		国庫支出金 (千円)	0	0	0		
		県支出金 (千円)	0	0	0		
		地方債 (千円)	0	0	0		
		その他 (千円)	0	0	0		
		一般財源 (千円)	43,840	45,291	46,707		
	事業費計 (千円)	43,840	45,291	46,707			

実施計画

年度計画	区分	平成32年度計画	平成33年度計画	平成34年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	施設の計画的な維持管理	施設の計画的な維持管理	施設の計画的な維持管理

自己評価

自己評価	前年度 自己評価	次年度の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由	利用者が快適に利用できるよう安全な維持管理に努める
	C	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		利用者が快適に利用できるよう安全な維持管理に努める		

平成31年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成30年度実施事業分)

事業概要

事務又は事業の名称		スポーツセンター施設管理費			所管	部	教育文化部
						課	スポーツ振興課
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 3 生涯学習社会の充実 2 生涯スポーツの普及と振興			区分	自治事務	
	教育振興基本計画 施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(4) スポーツ活動の推進				ハード事業 単独事業	
	行政改革 推進項目	00 該当なし			事業の開始・終了年度		
					事業開始	**	年度
					終了予定	**	年度
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本法	根拠法令	スポーツ基本法 第12条			
事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市民に	事業の目的	市直営による安全快適な施設とし、保全管理の徹底と効率的な活用を図る				
事業の内容	施設の維持・管理	平成30年度 活動実績	トレーニングマシン保守点検外				
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	平成29年度	平成30年度	平成31年度
	成果指標	成果指標になじまない	**	**	**	**	**
事業のコスト	財源内訳	区分	平成29年度	平成30年度	平成31年度予算		
		国庫支出金 (千円)	0	0	0		
		県支出金 (千円)	0	0	0		
		地方債 (千円)	0	0	0		
		その他 (千円)	0	0	0		
		一般財源 (千円)	9,934	10,122	10,444		
	事業費計 (千円)	9,934	10,122	10,444			

実施計画

年度計画	区分	平成32年度計画	平成33年度計画	平成34年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	施設の計画的な維持管理	施設の計画的な維持管理	施設の計画的な維持管理

自己評価

自己評価	前年度 自己評価	次年度の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由	利用者の快適な利用に配慮しながら適正で安全な維持管理に努める。
	C	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		施設の長寿命化を図りながら、利用者が快適に利用できるよう配慮しながら適正で安全な維持管理に努める。		

平成31年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成30年度実施事業分)

事業概要

事務又は事業の名称		市民体育館施設管理費			所管	部	教育文化部
					課	スポーツ振興課	
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 3 生涯学習社会の充実 2 生涯スポーツの普及と振興			区分	自治事務 ハード事業 単独事業	
	教育振興基本計画 施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(4) スポーツ活動の推進					
	行政改革 推進項目	00 該当なし			事業の開始・終了年度		
					事業開始	**	年度
					終了予定	**	年度
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本法	根拠法令	スポーツ基本法 第12条			
事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市民に	事業の目的	市直営による安全快適な施設とし、保全管理の徹底と効率的な活用を図る				
事業の内容	施設の維持・管理	平成30年度 活動実績	施設管理委託業務(受付・管理)外				
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	平成29年度	平成30年度	平成31年度
	成果指標	成果指標になじまない	**	**	**	**	**
事業のコスト	財源内訳	区分	平成29年度	平成30年度	平成31年度予算		
		国庫支出金 (千円)	0	0	0		
		県支出金 (千円)	0	0	0		
		地方債 (千円)	0	0	0		
		その他 (千円)	0	0	0		
		一般財源 (千円)	15,564	16,857	16,866		
	事業費計 (千円)	15,564	16,857	16,866			

実施計画

年度計画	区分	平成32年度計画	平成33年度計画	平成34年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	施設の計画的な維持管理	施設の計画的な維持管理	施設の計画的な維持管理

自己評価

自己評価	前年度 自己評価	次年度の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由	利用者の快適な利用に配慮しながら適正で安全な維持管理に努める。
	C	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		利用者が快適に利用できるよう安全な維持管理に努める		

平成31年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成30年度実施事業分)

事業概要

事務又は事業の名称		武道館施設管理費			所管	部	教育文化部	
						課	スポーツ振興課	
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 3 生涯学習社会の充実 2 生涯スポーツの普及と振興			区分	自治事務		
	教育振興基本計画 施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(4) スポーツ活動の推進				ハード事業 単独事業		
	行政改革 推進項目	00 該当なし			事業の開始・終了年度			
					事業開始	**	年度	
					終了予定	**	年度	
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本法	根拠法令	スポーツ基本法 第12条				
事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市民に	事業の目的	市直営による安全快適な施設とし、保全管理の徹底と効率的な活用を図る					
事業の内容	施設の維持・管理	平成30年度 活動実績	消防用設備保守点検業務外					
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
	成果指標	成果指標になじまない	**	**	**	**	**	**
事業のコスト	財源内訳	区分	平成29年度	平成30年度	平成31年度予算			
		国庫支出金 (千円)	0	0	0			
		県支出金 (千円)	0	0	0			
		地方債 (千円)	0	0	0			
		その他 (千円)	0	0	0			
		一般財源 (千円)	992	994	1,000			
	事業費計 (千円)	992	994	1,000				

実施計画

年度計画	区分	平成32年度計画	平成33年度計画	平成34年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	施設の計画的な維持管理	施設の計画的な維持管理	施設の計画的な維持管理

自己評価

自己評価	前年度 自己評価	次年度の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由	利用者の快適な利用に配慮しながら適正で安全な維持管理に努める。
	C	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		施設の長寿命化を図りながら、利用者が快適に利用できるよう配慮しながら適正で安全な維持管理に努める。		

平成31年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成30年度実施事業分)

事業概要

事務又は事業の名称		中央公園運動広場等施設管理費			所管	部	教育文化部
						課	スポーツ振興課
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 3 生涯学習社会の充実 2 生涯スポーツの普及と振興			区分	自治事務 ハード事業 単独事業	
	教育振興基本計画 施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(4) スポーツ活動の推進					
	行政改革 推進項目	00 該当なし			事業の開始・終了年度		
			事業開始	**	年度		
			終了予定	**	年度		
実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本法	根拠法令	スポーツ基本法 第12条				
事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市民に	事業の目的	市直営による安全快適な施設とし、保全管理の徹底と効率的な活用を図る				
事業の内容	施設の維持・管理	平成30年度 活動実績	中央公園運動広場夜間照明設備点検業務外				
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	平成29年度	平成30年度	平成31年度
	成果指標	成果指標になじまない	**	**	**	**	**
事業のコスト	財源内訳	区分	平成29年度	平成30年度	平成31年度予算		
		国庫支出金 (千円)	0	0	0		
		県支出金 (千円)	0	0	0		
		地方債 (千円)	0	0	0		
		その他 (千円)	0	0	0		
		一般財源 (千円)	3,736	3,714	3,700		
	事業費計 (千円)	3,736	3,714	3,700			

実施計画

年度計画	区分	平成32年度計画	平成33年度計画	平成34年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	施設の計画的な維持管理	施設の計画的な維持管理	施設の計画的な維持管理

自己評価

自己評価	前年度 自己評価	次年度の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由 利用者が快適に施設を利用できるよう配慮しながら適正で安全な維持管理に努める
	C	C		
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		利用者が快適に利用できるよう安全な維持管理に努める	

平成31年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成30年度実施事業分)

事業概要

事務又は事業の名称		スポーツ大会			所管	部	教育文化部	
						課	スポーツ振興課	
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 3 生涯学習社会の充実 2 生涯スポーツの普及と振興			区分	自治事務		
	教育振興基本計画 施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(4) スポーツ活動の推進				ソフト事業		
	行政改革 推進項目	00 該当なし			事業の開始・終了年度			
					事業開始	**	年度	
					終了予定	**	年度	
実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画		根拠法令	スポーツ基本法第22条第1項				
事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市内在住もしくは市内勤務・通学の中中学生以上の人に		事業の目的	ニュースポーツに親しむことによって、運動不足の解消と健康増進を図るとともに、市民のコミュニケーションを深めることを目的とする。				
事業の内容	市スポーツ推進委員会が中心となって普及しているトリプルソフトバレーの大会。 4~5人1チームで、各チーム予選3試合を行い、上位チームで順位決定戦を行う。		平成30年度 活動実績	平成30年度は13チーム58名の参加がありました。参加してくれた方々からはとても楽しかったと好評でした。				
事業の指標	種別	指標の名称		単位	最終目標値	平成29年度	平成30年度	平成31年度
	成果指標	トリプルソフトバレー大会		人	160	88	58	100
事業のコスト	事業費 財源内訳	区分		平成29年度	平成30年度	平成31年度予算		
		国庫支出金	(千円)	0	0	0		
		県支出金	(千円)	0	0	0		
		地方債	(千円)	0	0	0		
		その他	(千円)	12	12	12		
		一般財源	(千円)	52	52	52		
	事業費計	(千円)	64	64	64			

実施計画

年度計画	区分	平成32年度計画	平成33年度計画	平成34年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	トリプルソフトバレーを継続しながら、新たな種目の普及に努める。 新たなニュースポーツ大会の開催。	トリプルソフトバレーを継続しながら、新たな種目の普及に努める。 新たなニュースポーツ大会の開催。	トリプルソフトバレー大会もしくは新たなニュースポーツ大会の開催。 また、新たな種目の普及に努める。

自己評価

自己評価	前年度 自己評価	次年度の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由	トリプルソフトバレー大会は今大会で10回開催しており、次年度からはトリプルソフトバレーだけでなく、それに代わるような種目を探して普及していきたい。
	C	B			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		トリプルソフトバレーだけでなく新しいニュースポーツの普及に努めたい。		

平成31年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成30年度実施事業分)

事業概要

事務又は事業の名称		学校体育施設開放事業			所管	部	教育文化部
					課	スポーツ振興課	
事業の概要	総合計画該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 3 生涯学習社会の充実 2 生涯スポーツの普及と振興			区分	自治事務 ソフト事業 単独事業	
	教育振興基本計画施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(4) スポーツ活動の推進					
	行政改革推進項目	00 該当なし			事業の開始・終了年度		
					事業開始	**	年度
					終了予定	**	年度
	実施根拠となる分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	スポーツ基本法第13条第1項 野々市市立学校の施設の開放に関する規則			
事業の対象(誰が・誰に)	野々市市が市スポーツクラブ会員及び市スポーツ少年団、市体育協会加盟団体に		事業の目的	学校体育施設を学校教育に支障のない範囲で開放し 市民のスポーツ活動の振興を図る。			
事業の内容	学校開放運営委員会を設け、市内7校の教員及び学校利用団体代表者による開放運営委員会議を開催し、小・中学校の屋内体育館及び屋外運動場(体育館6、運動場6)の開放を行っている。		平成30年度活動実績	<ul style="list-style-type: none"> 学校体育施設開放運営委員会 学校体育施設開放指導員打合わせ会 			
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	平成29年度	平成30年度	平成31年度
	成果指標	学校体育施設利用者	人	88000	96803	88538	88000
		学校開放件数	件	3000	3365	3433	3400
事業のコスト	財源内訳	区分	平成29年度	平成30年度	平成31年度予算		
		国庫支出金 (千円)	0	0	0		
		県支出金 (千円)	0	0	0		
		地方債 (千円)	0	0	0		
		その他 (千円)	0	0	0		
		一般財源 (千円)	1,037	2,137	984		
	事業費計 (千円)	1,037	2,137	984			

実施計画

年度計画	区分	平成32年度計画	平成33年度計画	平成34年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	学校体育施設開放運営委員会 学校体育施設開放指導員打合せ会	学校体育施設開放運営委員会 学校体育施設開放指導員打合せ会	学校体育施設開放運営委員会 学校体育施設開放指導員打合せ会

自己評価

自己評価	前年度自己評価	次年度の方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由 市民の利用ニーズが高まってきていることから、現在の利用状況を的確に把握し、施設の利用促進に努めていく
	C	C		
改善点	今後の改善事項(ニーズ・課題等)		市民の利用ニーズが高まってきていることから、現在の利用状況を的確に把握し、施設の利用促進に努めていく	

平成31年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成30年度実施事業分)

事業概要

事務又は事業の名称		指導者研修会・養成講習会			所管	部	教育文化部
						課	スポーツ振興課
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 4 文化・スポーツ活動の充実 2 スポーツ団体の育成と体育施設の整備			区分	自治事務	
	教育振興基本計画 施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(4) スポーツ活動の推進				ソフト事業	
	行政改革 推進項目	00 該当なし			事業の開始・終了年度		
					事業開始	**	年度
					終了予定	**	年度
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	スポーツ基本法第11条、第14条			
事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市スポーツ推進委員、市スポーツクラブ員、市スポーツ少年団指導者・保護者、市体育協会員、市民及び市内勤務の人に		事業の目的	指導者を育成し、その指導者を中心として広く市民に安全で楽しくスポーツに親しむ機会を提供する。			
事業の内容	・市スポーツ推進委員の各種研修会への派遣 ・スポーツ傷病の予防と応急手当講習会(救急法・テーピング実技)		平成30年度 活動実績	北陸地区スポーツ推進委員研修会など多数の研修会へ市スポーツ推進委員を派遣した。また、30年度は北陸地区スポーツ推進委員研修会が白山市で開催されたこともあり積極的に活動していた。応急手当講習会などの各種講習会の開催も実施した			
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	平成29年度	平成30年度	平成31年度
	成果指標	市スポーツ推進委員の研修会参加人数	人	70	50	51	60
		スポーツ傷病の予防と応急手当講習会参加人数	人	60	50	50	60
事業のコスト	事業費 財源内訳	区分	平成29年度	平成30年度	平成31年度予算		
		国庫支出金 (千円)	0	0	0		
		県支出金 (千円)	0	0	0		
		地方債 (千円)	0	0	0		
		その他 (千円)	0	0	0		
		一般財源 (千円)	230	231	220		
	事業費計 (千円)	230	231	220			

実施計画

年度計画	区分	平成32年度計画	平成33年度計画	平成34年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	引き続き研修会等を通じて指導者の育成に努め、市民への実技指導に反映させる。	引き続き研修会等を通じて指導者の育成に努め、市民への実技指導に反映させる。	引き続き研修会等を通じて指導者の育成に努め、市民への実技指導に反映させる。

自己評価

自己評価	前年度 自己評価	次年度の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由	北陸地区スポーツ推進委員研修会等へのスポーツ推進委員の派遣を通して、市民を対象とした事業に活かしていく。また、スポーツ活動を安全に行ってもらうために応急手当講習会等の講習会も実施する。
	C	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		市民のニーズに応えられるような講習会の開催をしていきたい。		

平成31年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成30年度実施事業分)

事業概要

事務又は事業の名称		スポーツ団体育成事業			所管	部	教育文化部		
						課	スポーツ振興課		
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 4 文化・スポーツ活動の充実 2 スポーツ団体の育成と体育施設の整備			区分	自治事務			
	教育振興基本計画 施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(4) スポーツ活動の推進				ソフト事業			
	行政改革 推進項目	00 該当なし			事業の開始・終了年度		事業開始		** 年度
					終了予定		** 年度		
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	スポーツ基本法第22条、第34条					
	事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市民および体育協会並びにスポーツ少年団等に		事業の目的	市民の健康増進とスポーツ事業の推進を図る。				
事業の内容	・各種全国大会等に出場する選手への激励費の支給 ・小学生相撲大会、さわやかスポーツフェスティバル、 野々市じょんからの里マラソン大会各実行委員会への 委託事業 ・体育協会、スポーツ少年団等への補助金の支給等		平成30年度 活動実績	さわやかスポーツフェスティバル等は例年よりも参加者 が増えている。 また、全国大会出場選手へ激励費の支給、体育協会・ スポーツ少年団への補助金の支給を実施した。					
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	平成29年度	平成30年度	平成31年度		
	成果指標	野々市じょんからの里マラソン大会の参加者	人	1600	1119	1047	1300		
事業のコスト	事業費 財源内訳	区分	平成29年度	平成30年度	平成31年度予算				
		国庫支出金 (千円)	0	0	0				
		県支出金 (千円)	0	0	0				
		地方債 (千円)	0	0	0				
		その他 (千円)	0	0	0				
		一般財源 (千円)	16,109	16,762	15,130				
	事業費計 (千円)	16,109	16,762	15,130					

実施計画

年度計画	区分	平成32年度計画	平成33年度計画	平成34年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	・国際大会、国体等に参加出場する選手に激励費を支給する。 ・野々市じょんからの里マラソン大会各実行委員会委託事業。 ・各団体の補助事業(団体事務局への指導・助言等)	・国際大会、国体等に参加出場する選手に激励費を支給する。 ・野々市じょんからの里マラソン大会各実行委員会委託事業。 ・各団体の補助事業(団体事務局への指導・助言等)	・国際大会、国体等に参加出場する選手に激励費を支給する。 ・野々市じょんからの里マラソン大会各実行委員会委託事業。 ・各団体の補助事業(団体事務局への指導・助言等)

自己評価

自己評価	前年度 自己評価	次年度の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由
	C	C		
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)	体育協会、スポーツ少年団の事務局による主体的な団体運営を確立する。		

平成31年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成30年度実施事業分)

事業概要

事務又は事業の名称		生涯スポーツ活動推進事業			所管	部	教育文化部
					課	スポーツ振興課	
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 3 生涯学習社会の充実 2 生涯スポーツの普及と振興			区分	自治事務 ソフト事業 単独事業	
	教育振興基本計画 施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(4) スポーツ活動の推進					
	行政改革 推進項目	00 該当なし			事業の開始・終了年度		
					事業開始	**	年度
					終了予定	**	年度
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	スポーツ基本法第22条			
事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市民に		事業の目的	市民各層のニーズを勘案したスポーツ教室を開催することにより、健康を増進し体力向上を図るとともにスポーツ人口の拡大を図り活力あふれる地域づくりを目指す。			
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者健康クラブの活動補助 ・体力・運動能力調査の実施 ・エアロビック教室の開催 ・ニュースポーツ体験会の実施 ・スポーツガイドののいちの発行 		平成30年度 活動実績	各種講習会の開催を実施した。また、スポーツガイドののいちも発行した。			
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	平成29年度	平成30年度	平成31年度
	成果指標	高齢者スポーツ活動参加者数	人	1500	2000	2500	3000
事業のコスト	事業費 財源内訳	区分	平成29年度	平成30年度	平成31年度予算		
		国庫支出金 (千円)	0	0	0		
		県支出金 (千円)	0	0	0		
		地方債 (千円)	0	0	0		
		その他 (千円)	0	0	0		
		一般財源 (千円)	418	468	531		
	事業費計 (千円)	418	468	531			

実施計画

年度計画	区分	平成32年度計画	平成33年度計画	平成34年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	高齢者健康クラブ活動補助の実施。 体力テスト、ニュースポーツ体験会の実施。	高齢者健康クラブ活動補助の実施。 体力テスト、ニュースポーツ体験会の実施。	高齢者健康クラブ活動補助の実施。 体力テスト、ニュースポーツ体験会の実施。

自己評価

自己評価	前年度 自己評価	次年度の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由
	C	C		
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		市民のニーズに合わせたスポーツ教室の開催をしていく。	

・(5-2) 学識経験者からの意見

スポーツ施設の安全快適で効率的な利用を図るため、利用者のニーズを把握し、計画的に老朽化した施設の更新等に努めていただきたいと思います。

市内の小・中学生や高校生がスポーツにおける県大会等で活躍しています。こうした児童生徒たちの活躍について、激励や支援をしていただきたいと思います。

スポーツ推進委員や指導者・コーチに対して、安全にスポーツを楽しむための知識を深めるための研修の機会を充実してほしいと思います。

ニュースポーツ普及のための体験会やスポーツ教室の開催などに今後も努めていただきたいと思います。

・(5-3) 今後の方針

- ① 快適に施設を利用できるよう配慮し、計画的に適正で安全な維持管理に努めます。
- ② 子どもたちが安心してスポーツ活動を楽しめるように、スポーツ環境の整備をし、ジュニアスポーツの推進に努めます。
- ③ 生涯を通じてスポーツを楽しむ方法や、指導者に求められる資質能力を確実に習得するための機会を提供していきます。
- ④ 今後も、幅広い年齢層が楽しめるニュースポーツの普及の推進に努めます。

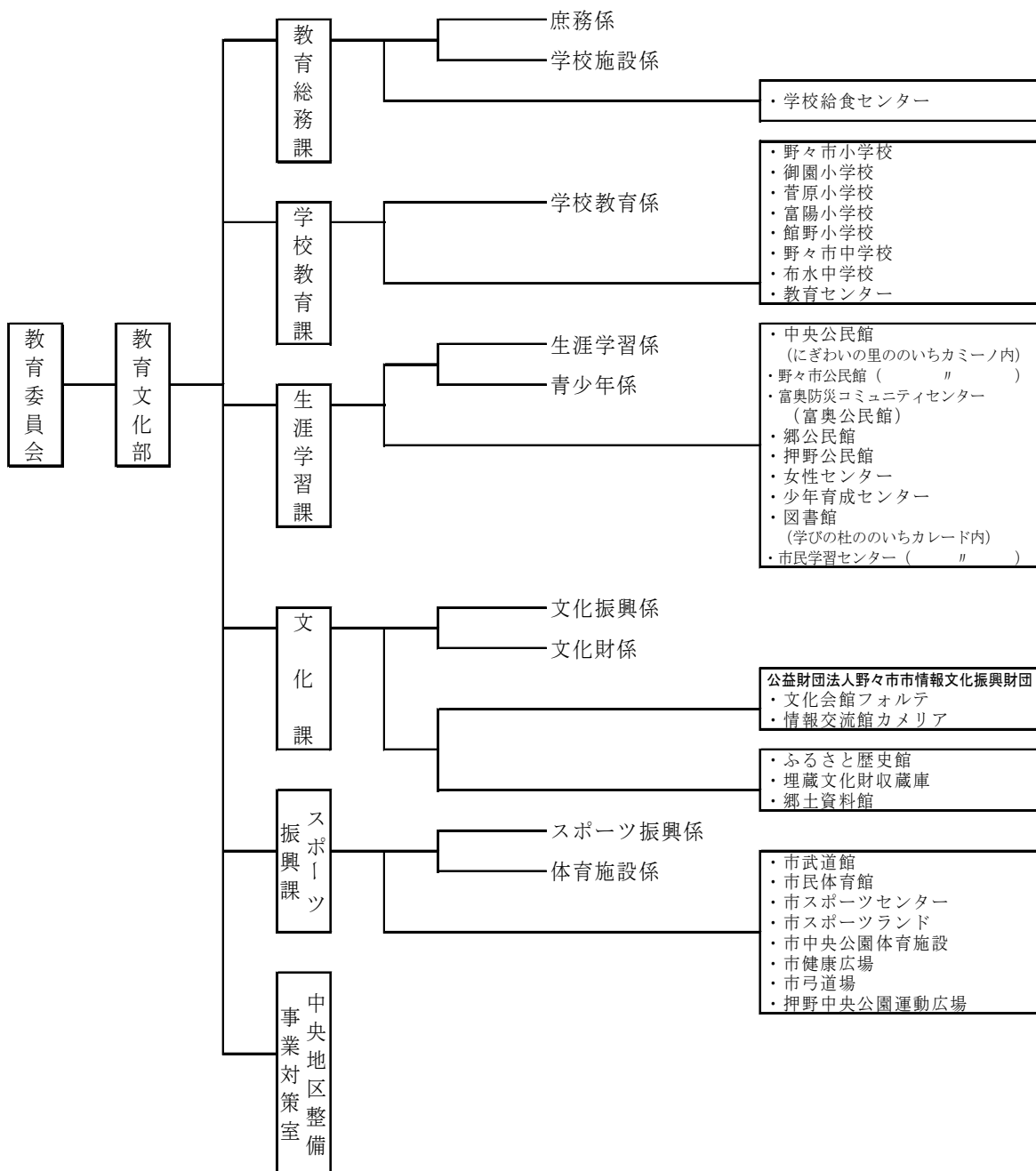
4 参考資料

野々市市教育委員会組織（平成31年4月1日現在）

<教育委員会>

教 育 長	堂 坂 雅 光	教育長職務代理者	松 野 勝 夫
委 員	松 本 哲 幸	委 員	宮 川 美 保 子
委 員	安 嶋 是 晴	委 員	高 桑 奈 美

<教育委員会事務局組織>



お問い合わせ

〒921-8510

石川県野々市市三納一丁目1番地

野々市市教育委員会

TEL（代表）：227-6111

F A X ：227-6258

E メール： kyouiku_soumu@city.nonoichi.lg.jp